

HITACHI
Inspire the Next

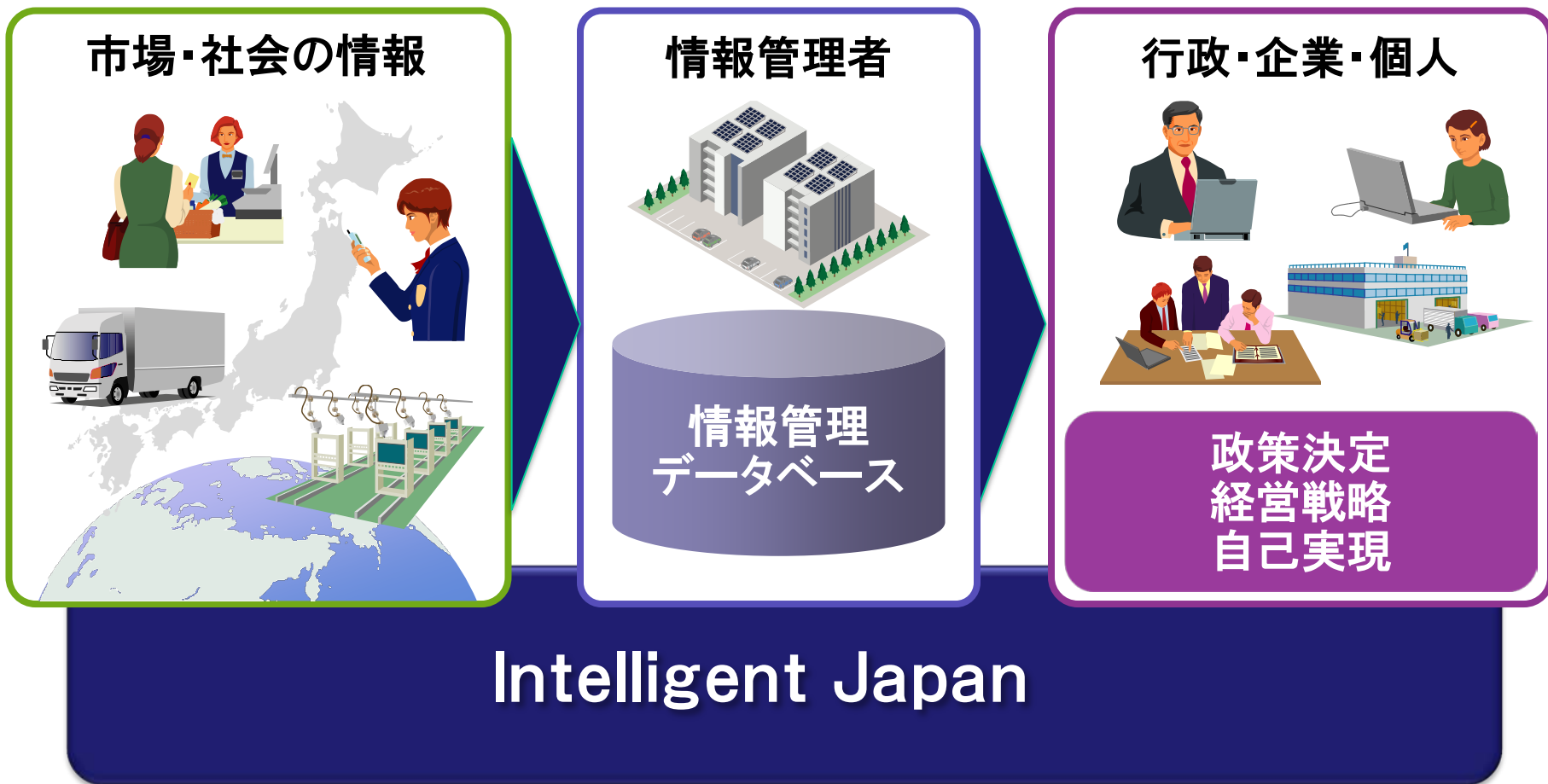
2020年代、めざすべきICT社会

2014/5/08

(株)日立製作所 情報・通信システム社 上席研究員
経団連 インターネットエコノミー作業部会 主査
情報通信学会 理事
筑波大学 客員教授

梶浦 敏範

1. 情報共有・活用による社会の”Intelligent”化



国力の指標は、人口・生産量・・・に加えて「有効な情報の質×量」

2. 企業の中の情報共有・活用



事業所単位の活用から、グループ企業や海外事業所にも展開

3. 業界の中の情報共有・活用

☆完成車輸送：水島⇒ベルギー
（自動車の完成車輸出）

国際的な相互運用性・実践性、
国際標準規格の確立
空間コードを活用した実証

☆コンテナ輸送：上海・煙台⇒博多・門司・東京
（精密機械・食品の資材輸入）

- ・現場作業の負担軽減
- ・物流の全体最適
（エコ・生産性向上）

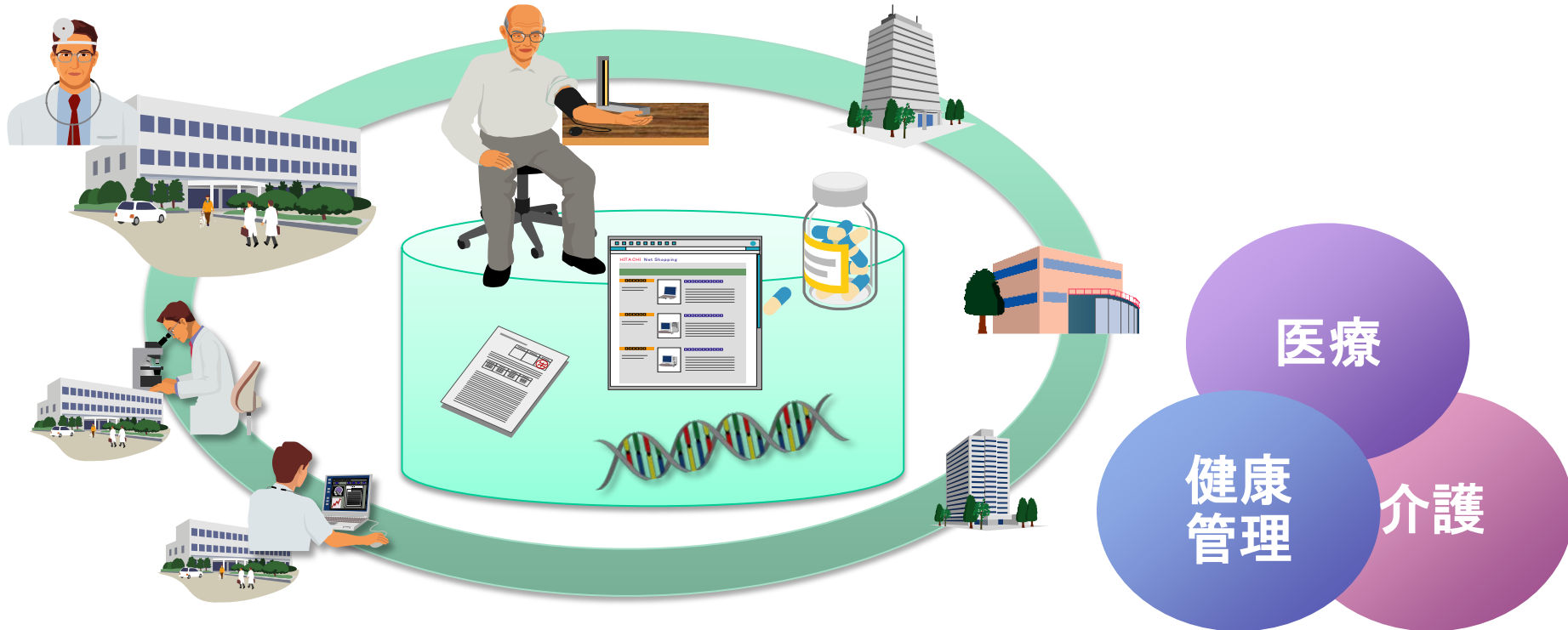
- ・物流の全体最適
- ・輸送情報の遡及性向上
- ・悪用防止、盗難偽造対策

■表示・測位機能付ICタグ

■コンテナ輸送用ICタグ

2011年までに実証実験終了、2015年の実稼動を目指す

4. 地域における情報共有・活用



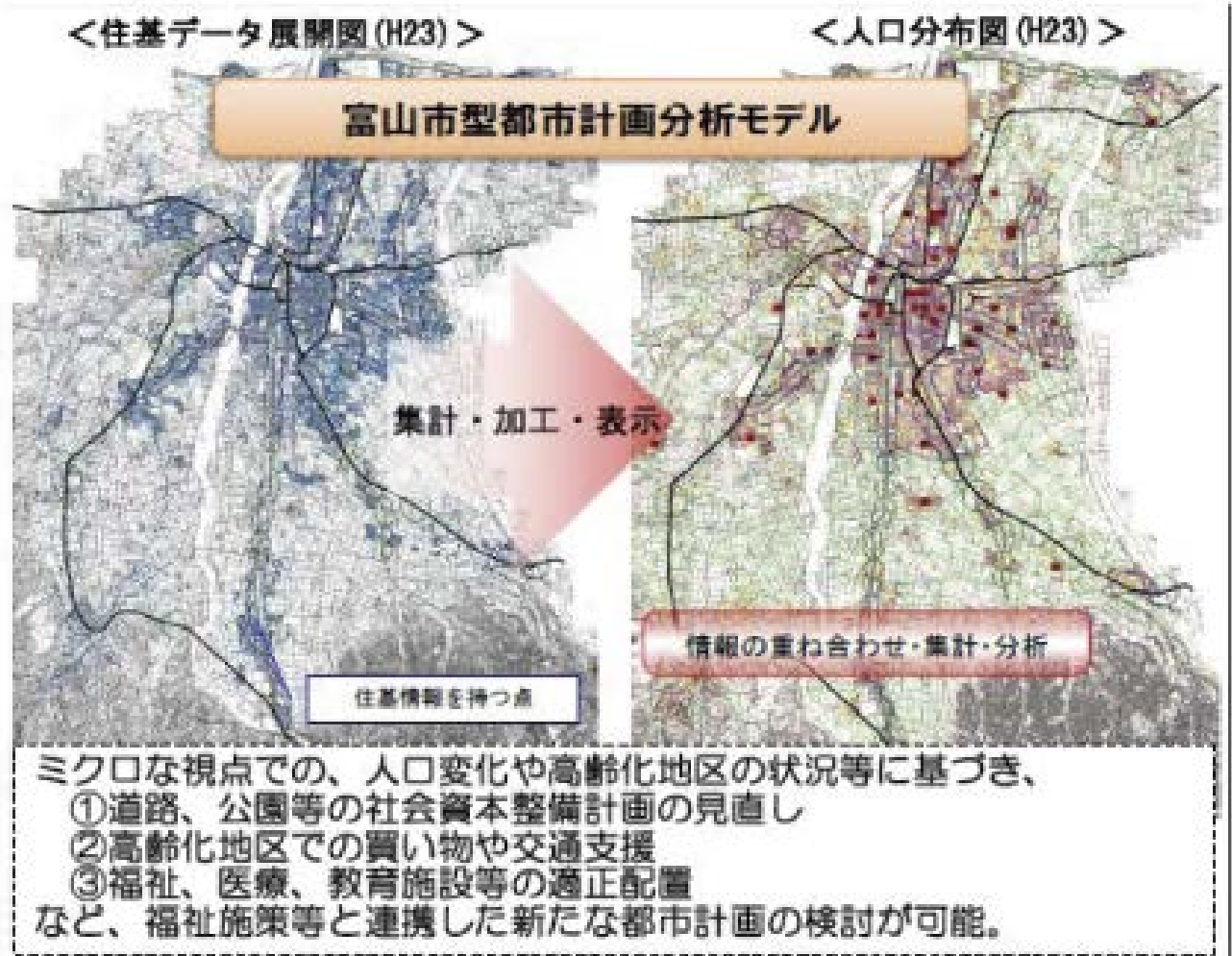
ゲノム解析などが進み、個人を対象にした診療が可能な時代

医療・介護・健康管理に関わる機関間での情報共有・活用があれば

4. 地域における情報共有・活用

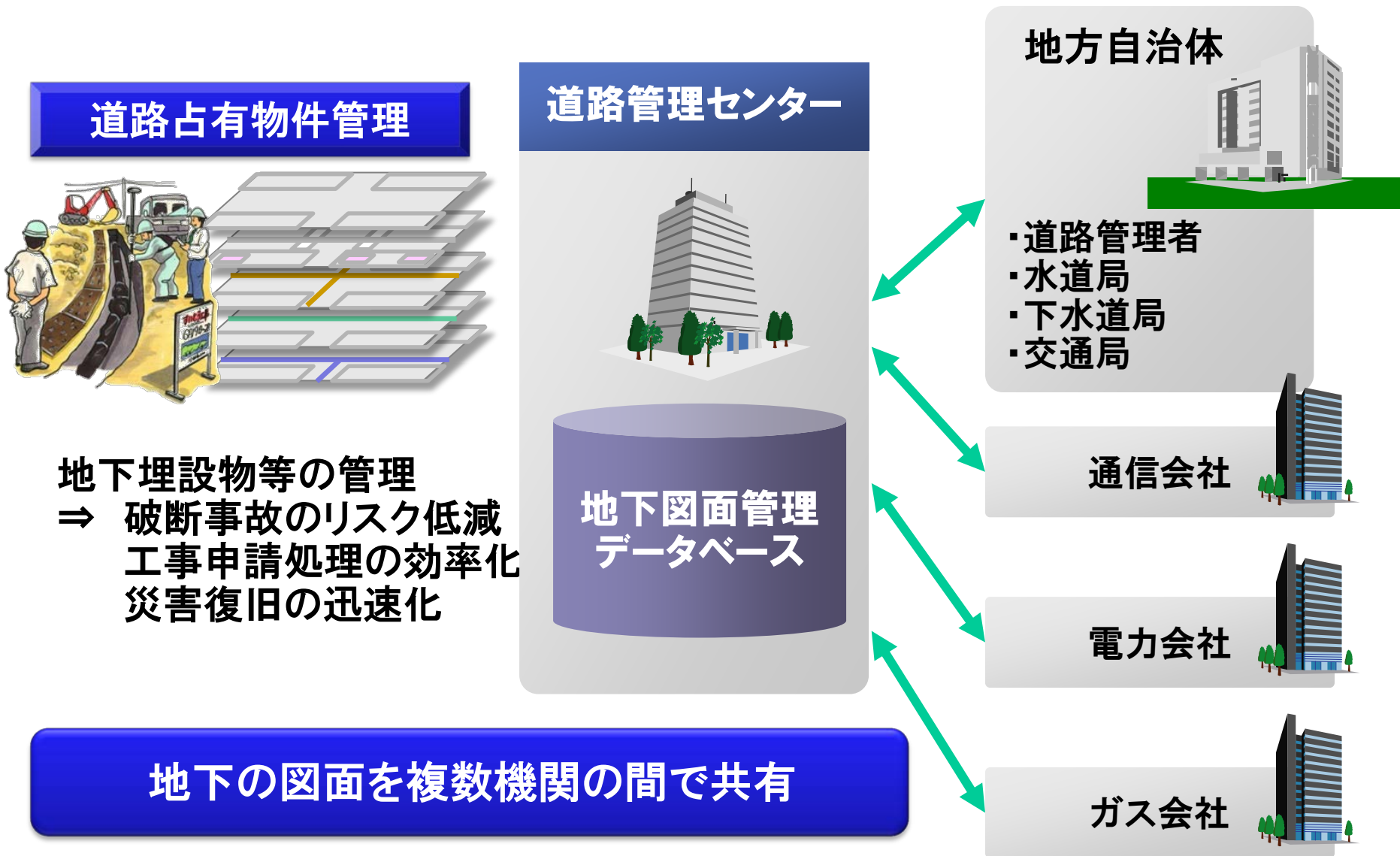
住民基本台帳情報のGISへの展開

都市再生計画のコンセンサス

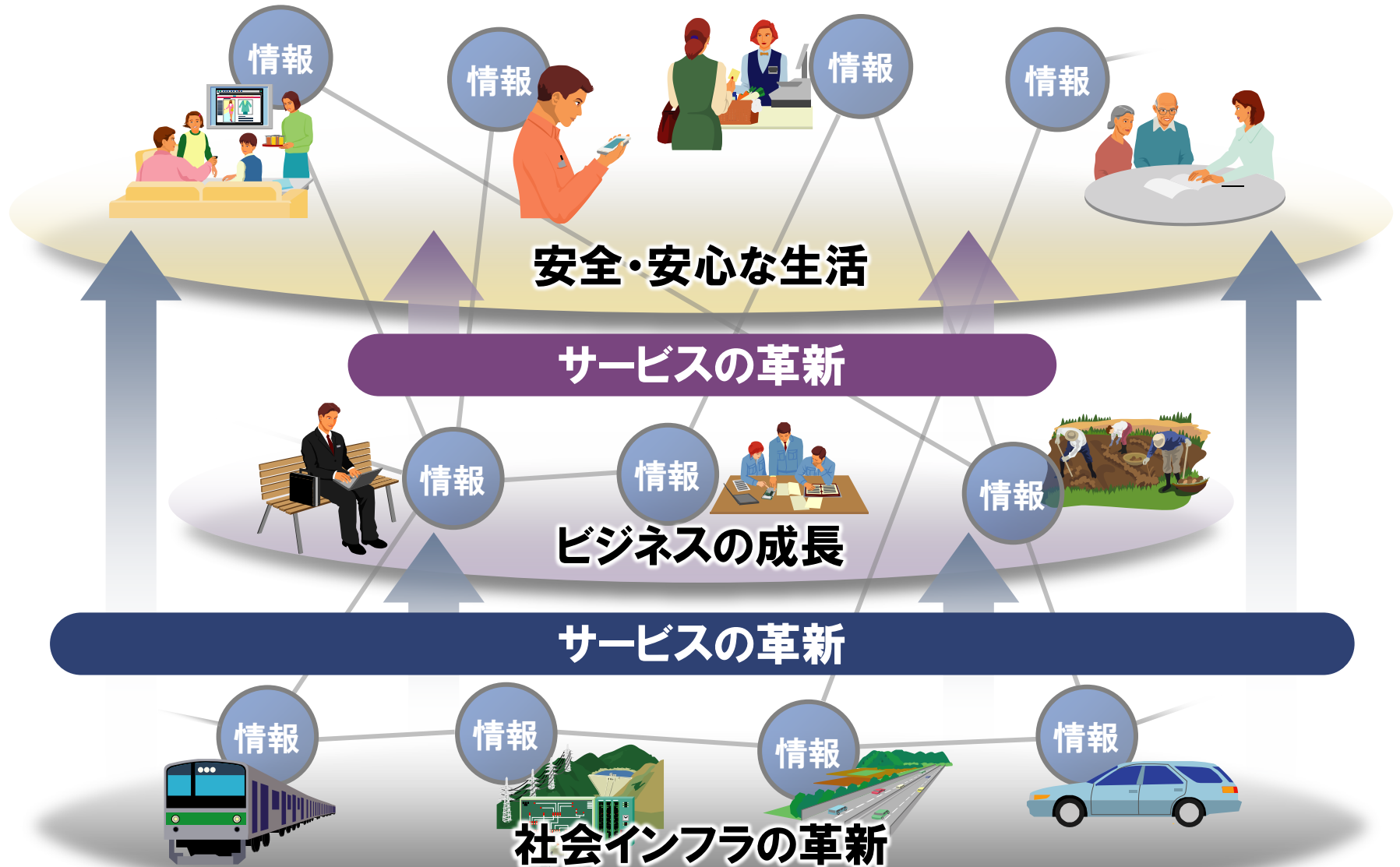


住民基本台帳情報他をビジュアルにし、地域活性化の一助に

4. 地域における情報共有・活用



5. 社会インフラとサービスの革新



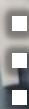


人を起点に様々な情報がグローバルに行き交う社会

情報の共有

経験の共有

知識の共有



オープンで透明な インターネットの堅持

安心できるインター
ネット環境の確保

国際的に調和のとれた
データ越境ルール

日米政府CIO
の協力

世界規模でのクラウド
ビジネスの促進

在日米国商工会と経団連が共同で日米政府等に提案したこと

高齢化・過疎化に対応した公的・準公的サービスの強化

- ・ヘルスケアサービスの充実や効率化
- ・コンパクト&スマートシティの推進
- ・公共交通機関の活性化

業界内での協調・競争の促進による産業競争力向上

- ・協調領域での情報共有による効率化と新規参入促進
- ・競争領域での企業努力による国際競争力強化
- ・行政等のモニタリングによる安心安全の確保

有効な情報の蓄積による日本社会の優位性確保

- ・情報があるゆえの「ヒト・モノ・カネ」の流入
- ・国際社会に対するプレゼンスの向上

END

2020年代、めざすべきICT社会

2014/5/8